

学校名 川越市立砂中学校
所在地 川越市大字砂260番地
電話 049-242-6588

1 本校の概要

全校生徒 437 名、14 学級の中規模校で、学校教育目標「心身ともにたくましい生徒 自主的に学習する生徒 思いやりをもち協力する生徒」とし、「生徒が学んでよかった 保護者が通わせてよかった 教職員が勤めてよかったと思える学校～笑顔と活力に満ち溢れ、互いに響き合う学校～」を目指して日々教育活動に取り組んでいる。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ 家庭や地域との連携

(2) 実践の概要

全校生徒が読書に親しむ態度や読書習慣を身に付ける取組や地域との連携、環境整備の工夫として、次のような様々な活動に取り組んでいる。

ア 朝読書の推進

全校で朝の会の前に朝読書を行っている。先生も生徒も集中して本を読む「静」の活動から学校生活の一日が始まり、落ち着いてスタートすることができている。（写真①）



イ 図書館だよりの発行

学校司書から新聞を月1回「図書館だより」として発行している。先生方からの本の紹介や学校図書館に入った新しい本の紹介をして、読書に親しめるように記事をつくっている。（写真②）



ウ おすすめの本の紹介：（写真③）

図書室外側の展示や図書室内の展示を工夫し、タイムリーな内容の本を集めて特集を組んだり、集会で話した内容の本を廊下に展示したりして、機会を

捉えて生徒が本に親しむための取組をしている。



エ 地域の方による読み聞かせ

地域の方の協力で、全校で読み聞かせを行っている。自分が本を読んでいる場合との違いや、読んで聞かせるための工夫など、違った視点での読書活動を学ぶことができている。（写真④）



オ ビブリオバトルへの参加：（写真⑤）

国語の時間での実施だけでなく、学校代表を選出して小江戸小・中学生ビブリオバトル2023に参加している。今年オンラインで実施され、自分の好きな本をどれだけアピールできるかのプレゼンテーション力も試されている。また、推薦した紹介者のおすすめの本は、市立図書館にて紹介してくれている。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・ 本への興味関心が高まり、本を手取る生徒が着実に増え、「読む力」が高まってきている。

(2) 課題

- ・ 図書室が教室から遠く、気軽に足を運べていないので、今後はより一層、生徒が足を運ぶ魅力ある図書室づくりが求められる。
- ・ 学校司書の図書委員会の連携による活動を増やして生徒主体の読書活動を増やしていくことで本への親しみがさらに増すと考えている。